

田中酒造店

田中酒造は、1899 年の創業当時、小樽に 50 軒あった酒蔵のうちの 1 軒でした。現在では、田中酒造はこの町で唯一残っている酒蔵です。1927 年に、元の醸造所があった場所に田中酒造本店が開店しました。その木造の建物は、客や店先を冬の間の雪から守るための長い軒が付けられており、20 世紀初めに小樽に建てられた店舗の特徴をよく示しています。

元々使用していた店の看板、20 世紀以降のさまざまな醸造酒の広告など、初期の木製の手彫り看板が数多く保存されてきました。1944 年の戦時体制のもと、小樽での酒造りは、供給と価格を管理する 1 つの組織のもとで統合されており、田中酒造は小売りに限定した商いをしていました。1996 年に田中酒造店は小樽の商業中心地から南の方に建てられた 3 棟の石造り建造物から成る岡崎倉庫を購入し、醸造業を復活させました。田中酒造では、酒の醸造の際に小樽にある天狗山の沸き水と北海道産の米を使用しています。本店と醸造所では、無料で酒の試飲ができます。